

モンゴル国の国家祭祀対象の山々と聖地 (要旨)

S.ヤンジンスレン (モンゴル国立大学・哲学・宗教学科教授, Ph.D.)

モンゴル人は、自然と調和しながら伝統的な遊牧生活と牧畜生活を維持してきた民族である。この遊牧・牧畜の生活様式が維持されていることは、モンゴル人の主要な経済活動と密接に関連している。モンゴル国の人口の約 30%¹は地方に居住しているが、地方に限らず首都や他の都市部に住む住民の生活も、地方の牧畜業の変動に依存している。

牧畜業が地方住民の主要な経済活動であるため、彼らの最優先課題は、四季折々の異なる気候条件に対応しながら、家畜の増加を目指すことである。この過程には、牧畜民や地方住民の多大な労働力と知恵が必要であり、彼らはそれぞれの季節の特徴に応じた牧畜の方法を適用しなければならない。この際、モンゴル人は科学的な方法論と伝統的な民間知識、そして宗教的な儀式を組み合わせ活用しており、この多面的なアプローチはモンゴル政権からも認められ、尊重されている。

そのため、モンゴル国は歴史的な文化伝統と国民の意見に基づき、国家が祭祀する山々と聖地を定め、特別な規定²に従いつつ、地方の提案を考慮しつつ祭祀の時期を設定し、儀式を行っている。

しかしこの祭祀儀式は古くからの伝統を持つ。公式には「国家祭祀対象の山々とオボアの天を祀る儀式」と呼ばれており、この儀式は国家の儀礼であると同時に宗教的な儀式としきたりを合わせて行う政教合一のものでもあり、自然を崇敬し、国家、国民、そして経済の繁栄を自然に託しておこなう儀式・しきたりでもある。

現在、モンゴル国には 13 の国家祭祀対象の山々と聖地が存在しており、国家祭祀の時期はモンゴル国大統領の指令によって決定され、儀式に参加する国家の使節や代表者が正式に任命される。

本報告では、モンゴル国の「国家祭祀対象の山々と聖地の天を祀る国家儀式」について詳しく考察する。国家祭祀の際に朗読されるチベット語やモンゴル語の経典を広範に使用する。

¹ 2024 年 10 月 6 日 14 時 10 分に <https://1212.mn> にアクセス。国家統計局によると、2024 年 3 月 13 日時点でモンゴルの地方人口は 1,024,811 人とされている。

² 国家祭祀対象の山々とオボアの天を祀る儀式に関する規定。